



りゅうおう

議会だより

No. 165

2013.11.1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎ 0748-58-3713 (直通) (有)58-3713



緊急時用浄水装置の操作実演

平成25年第3回定例会・第2回臨時会

- 平成24年度決算を認定 2~3
- 平成25年度補正予算、条例関係 4~5
- 各委員会活動 6~8
- 一般質問 9~13
- 第15期竜王町議会(後期)新体制決まる 14

いきいき人生 島田 多美枝さん 14

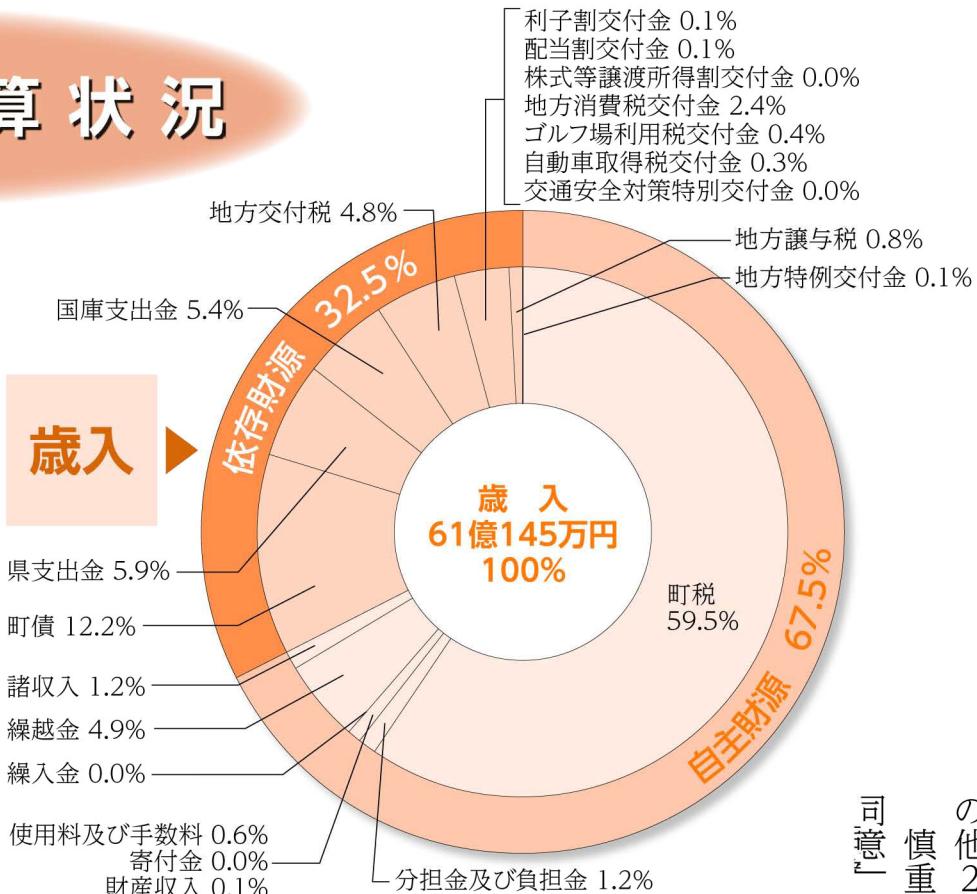
認定

法人町民税が大幅に増加

歳入総額 61億145万円

決算状況

歳入



新設された学童保育所（竜王小学校グラウンド敷地内）

平成25年第3回定例会

平成25年第3回定例会は、9月5日から27日までの23日間の会期で開かれました。

提出された議案は、条例改正3件、平成25年度一般・特別会計補正予算4件、平成24年度一般・特別会計歳入歳出決算認定7件、企業会計決算認定1件、人事案件5件、意見書2件、その他2件が提案されました。

慎重審査の結果、原案どおり全て「可決、認定、

平成
24年度

決算を

一般会計

歳出総額 58億5,834万円

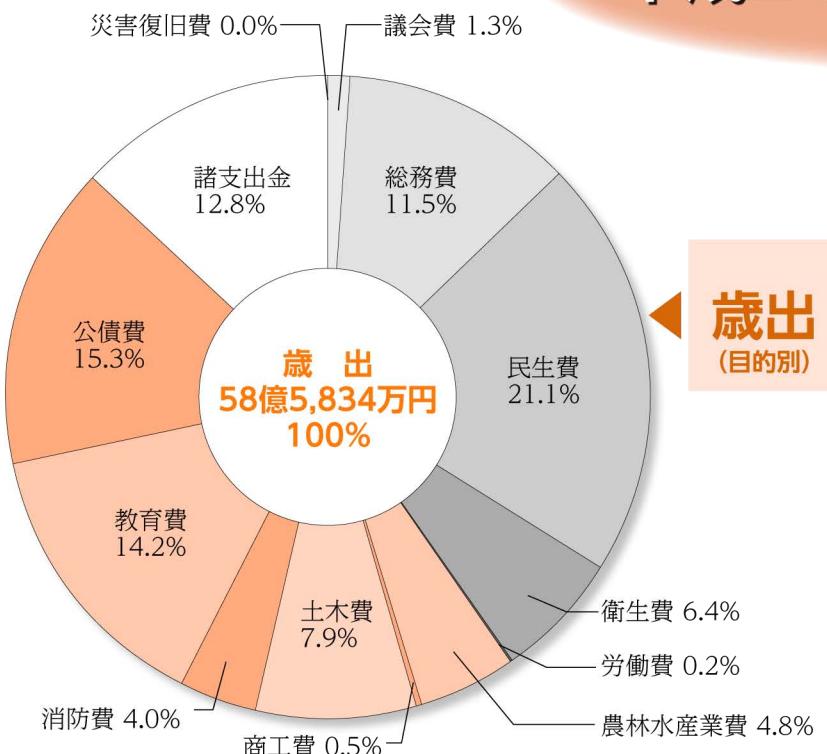


竜王小学校トイレの改修
(上: 改修前、下: 改修後)

決算に関する意見

◎ をもつて実行すること。
一般・特別各会計における目標を達成する。
◎ を導入し、専門家による教育等の実行。
◎ をもつて実行し、具体的な目標を達成する。
◎ をもつて実行し、具体的な目標を達成する。
◎ をもつて実行し、具体的な目標を達成する。

◎ をもつて実行し、具体的な目標を達成する。
◎ をもつて実行し、具体的な目標を達成する。
◎ をもつて実行し、具体的な目標を達成する。
◎ をもつて実行し、具体的な目標を達成する。
◎ をもつて実行し、具体的な目標を達成する。



	歳入	歳出	差引
国民健康保険(事業勘定)	11億 569万円	10億 1,904万円	8,665万円
国民健康保険 医科 (施設勘定)	8,933万円	8,313万円	620万円
歯科	5,610万円	5,153万円	457万円
学校給食事業	5,967万円	5,921万円	46万円
下水道事業	6億 2,462万円	6億 1,063万円	1,399万円
介護保険	6億 8,960万円	6億 7,173万円	1,787万円
後期高齢者医療	8,051万円	8,004万円	47万円

平成24年度 水道事業会計の決算

収益的収入および支出	3億354万円	2億6,238万円	4,116万円
資本的収入および支出	1億594万円	1億4,158万円	3,564万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額3,564万円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金および消費税資本的収支調整額で補てん。

補正予算

一般会計補正 (第2号)

確認調査業務委託料等の
増額です。
(全員賛成で可決)

補正予算(第1号)まで
の歳入歳出予算額6億92
16万2千円に、歳入歳出
それぞれ6050万1千円
を追加し、歳入歳出予算の
総額をそれ63億526
6万3千円とするものです。
補正予算の主な内容は、
総合行政システムのリプ
レース業務に係る電算プ
ログラム開発委託料、町
税過年度過納還付金、子
ども療育事業に係る開設
準備経費、保育士等処遇
改善臨時特例事業補助金、
農業用施設維持補修工事、
日野川流域土地改良区負
担金、日野川用水管理協
議会負担金、県単独土木
建設事業負担金、文化財



備品整備が図られる運動療法室(町公民館3階)

介護保険特別会計補正予算 (第2号)

追加し、歳入歳出予算の総
額をそれぞれ6億9960
万4千円とするものです。

補正予算の主な内容は、
歳出については、介護認定

補正予算(第1号)まで
の歳入歳出予算額6億97
75万7千円に、歳入歳出
それぞれ184万7千円を

補正予算(第1号)まで
の歳入歳出予算額6億92
16万2千円に、歳入歳出
それぞれ6050万1千円
を追加し、歳入歳出予算の
総額をそれ63億526
6万3千円とするものです。

補正予算の主な内容は、
歳出については、介護認定

調査の件数が増加傾向にあ
ることから、要介護認定調
査業務委託料の増額、保険
給付費として、要介護認定
者の福祉用具購入に係る居
宅介護福祉用具購入費、介
護予防福祉用具購入費、介
護予防住宅改修費のそれぞ
れ増額です。

また、諸支出金として、
第1号被保険者保険料の還
付金28万2千円、過年度介
護給付費交付金等償還金48
万1千円の増額です。

歳入として、国、県、支払
基金の公費負担分が264
万5千円の追加交付となっ
たことから、介護給付費準
備基金繰入金を減額し、予
算の組み替えがされました。

(全員賛成で可決)

後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)

平成25年度竜王町水道事
業会計の第9条で定めた、
棚卸資産の購入限度額の既
決予算500万円を、今回
200万円増額し700万
円とするものです。

当初予算の歳入歳出予算
額8220万円から、歳入
歳出それぞれ27万7千円
を減額し、歳入歳出予算の
総額をそれぞれ8192万
3千円とするものです。

補正予算の主な内容は、
後期高齢者医療システムソ
フト保守料が、総合行政シ
ステムのリプレース業務に
係つて一括管理とすること

から、一般管理費の減額、
また保険料が減額
し還付金が発生し
たことから、諸支
出金の保険料還付
金の増額です。

(全員賛成で可決)



水道資機材庫

水道事業会計補正予算 (第3号)

総務産業建設常任委員会

視察研修

有限会社イースト ファームみやぎ



(有)イーストファームみやぎ 応接室にて

現在は周辺の圃場は整備出発されました。主とした「(有)イーストファームみやぎ」として再立ち上げられました。平成6年3月にこの組合を発展的に解散し、3戸の農家を

昭和59年6月に4戸がまとまり14haと作業受託田20haで小島生産協業組合を立ち上げられました。平成6年3月にこの組合を発展的に解散し、3戸の農家を

付加価値の向上等が経営の安心安全意識へのこだわり、特徴です。

保有農業機械は少なく、有効に活用し機械販乏を避けています。

農地を有効利用するため転作時の麦作7haや、麦跡の大豆15ha（自作田10ha・

借地5ha）、カルビー（株）向けジャガイモ3ha、綿花5haの栽培を行っています。

付加価値をつけるため精米や加工米飯として出荷し、栄養週期理論に基づく独自の栽培方法で「栄週米」としてのブランド出荷もしています。もち加工センターを作り、もち販売や米粉パン

され、1区画が0.5haから1.4haの土地改良が行われた水田となっています。

会社の目指す経営は低コスト化に向けた取り組みで、安心安全意識へのこだわり、付加価値の向上等が経営の安心安全意識へのこだわり、特徴です。

大崎市の地域プランの取り組み

平成18年に合併が行われ新市名「大崎市」となった

が、外向きには知られていないことにより、知名度やブランド力が宮城県内でも最下位となつたことから地域ブランド確立に取り組まっています。

取り組み品目は、日本酒・味噌・醤油・納豆、近年開発されたものとして、地ビールなどがあり、発酵のまち大崎を官民が連携し推進されています。



鵜川水防倉庫の備蓄品

い直売所経営も行っておりました。

災害時の対応について

災害時の応援協定の状況については、県内各行政機関や各企業、各団体との協定等締結内容も含めて説明を受けました。

今後の予定は用地取得にかかる地権者との調整、インフラ整備等の検討、関係者との打合せの継続。また、住宅需要のニーズ調査、地元役員や地権者への説明、地権者の承諾のもと地区計画の検討です。

1 山之上地区

住宅地区計画について

水防倉庫や防災センターでの稼動する機器については、月1回の始動確認がされていました。

今年度に入り、地元の窓口として推進委員会が設置されました。事業促進のため、周辺大手企業とも話し合いを行っています。

今後は農業振興に資する住宅計画の検討、引き続き関係機関との協議が必要です。

地元役員への説明で、概ね理解が得られたが、農振除外に係る関係機関（県農政課、東近江農業農村振興事務所）との協議では、かなりハードルが高い状態になります。

今後は農業振興に資する住宅計画の検討、引き続き関係機関との協議が必要です。

住宅地のインフラ整備を取り組むには、道路に埋設された農業用配水管や上下水道の検討も必要で、日野川流域土地改良区等の関係機関との協議も必要です。

業務役割分担等の説明を受けました。

教育民生常任委員会

国保診療所（直診）を取り巻く現状と今後の方向性・あり方について

歯科の現状は、平成17年度以降、歳入歳出とも減少傾向ではありますが、診療収入はほぼ横ばいであり、外来者数は平成19年度以降増加傾向の状態です。

平成11年度より歯科保健センターを設置し、訪問診療等不採算部門への取り組み、とりわけ虫歯予防等に力を入れ、結果として、本町の子どもの虫歯数が県下でも非常に悪い位置であつたのが、現在では県下で虫歯数の少ないトップになっています。

医科については、平成19年度以降受診件数が減少傾向にあり、社会保険診療報酬が特に減少したため、平

成23年8月より週1回の夜間診療を実施してきました。2年間の試行期間においては、週1回の夜間診療ではなかなか定着せず、また、固定患者が増えませんでした。結果として、平成25年9月末をもって夜間診療を中止し、竜王町としては在宅診療に力を入れて行く方向です。

児童発達支援事業について



児童発達支援事業を行う予定の事務所
(町公民館3階)

来年4月20日ごろの開所を目指し、滋賀県への申請や保育士の雇用、設置条例の改正等について準備しているところです。

児童発達支援セントナーを取り巻く環境について

利用者の保護者とも協議をする中で、公民館が考えられることは話を聞いていますし、現地も見ていただいている。

答

利用者の保護者とも協議をする中で、公民館が考えられることは話を聞いていますし、現地も見ていただいている。

視察研修

去る8月20日・21日の2日間、新潟県見附市と長野県佐久市で視察研修を行いました。

見附市

健康施策の重要性を市長

自らが感じられ、健康に関心のある住民はもとより、関心が薄い住民も自然と健康新れるハード整備や仕組みづくりを構築する「スマートウェルネス（＝健幸）」の

推進に取り組まれています。従来からも日本型食生活の勧めや地消地産などの食育推進など、狭義の健康施策に加えて、特に「歩く」こと、また、発達障がいへの対応については、早期発見、早期支援が大切であることを踏まえ、一生涯を

じてライフステージに合わせた支援を保健・教育・福祉関係機関等が連携しながら行うためのものです。健幸基軸にまちづくりを進められていました。

主な意見

保健師、保健補導員などを高めること、それを地域に広め地域ぐるみで健康社会を築くことを目指し活動をしておられます。

主な意見

「歩く」を基本に総合特区の戦略を開拓され、歩こう条例の制定など、何事にも健幸基軸にまちづくりを進められています。

竜王町においても「第2次健康いきいき竜王21プラン」を基に計画の実現を目指しました。

ているが、計画が全町的に広がるよう取り組みを進める必要がある。

佐久市

佐久市は、健康長寿都市宣言やぴんころ運動推進事業を開始され

り講座、教育の推進に取り組んでこられました。また、佐久市の健康長寿のもう一つの取り組みは、昭和46年から継続されている保健補導員活動です。補導員はまず自らの健康意識



ぴんころ御膳の一例 (佐久市)



ぴんころ長寿いろいろはかるた (佐久市)

みんなの声を町政に届けます

一般質問

8議員が13問

- ①名神竜王インターチェンジの機能向上について
- ②水道メーター期限切れについて
- ③県の流域治水条例案について
- ④滋賀竜王工業団地、残地森林（保安林）の有効活用について
- ⑤IBMグラウンド跡地の活用について
- ⑥竜王町における保健師活動について
- ⑦平成25年度の新規取り組み事業の執行状況について
- ⑧災害時における避難所等の備蓄資機材の状況について

小森 重剛議員
 竹山 兵司議員
 内山 英作議員
 松浦 博 議員
 西村 公作議員
 貴多 正幸議員
 古株 克彦議員
 岡山 富男議員

問 して位置づけられる国道477号は、交通渋滞が発生すると地域経済に大きな影響を与えることは明らかであり、なんらかの対策が急務であると考える。名神高速道路を横断する手段としてトンネルが1カ所しかなく、南北横断の交通が遮断状態になるほど閉鎖的であるのが現状である。

そこで、インターチェンジの機能拡大・向上（南側乗り降りブース事業の計画があるのかを伺う。

答 インターチェンジの南口料金所の開設等については、予測交通量や地形等の技術的側面等から非常に課題も多く、強を含めたエリ



小森 重剛議員

名神竜王インターチェンジの機能向上について

関係機関に対し、実現に向け要望活動を強化、継続していきます

現時点としては、さまざまな周辺状況の進展等を見据えている段階で、具体的な調査研究には至っていないのが現状です。

「竜王インターチェンジ周辺交通対策会議」において、現時点で考えられる交通安全等、交通対策の課題解消といった観点から、協議、指導を受けてきました。

関係機関に、インターチェンジ周辺の将来の姿が一定見えしてきた現在、この地域の市街化の進展等、近い将来を見据えながら、竜王インターチェンジの機能向上はもとより、インターチェンジへのアクセス道路の補

ア全体の機能強化など、一體的に検討する必要があります。

本格的に、具体的な調査研究に着手する時期が来たものと考えます。

関係機関に、インターチェンジの機能向上の実現に向け、具体的な提案を準備し要望活動を強化し、継続していきます。



インターナー南交差点付近



竹山 兵司議員

水道メーカー期限切れについて

再発防止と町民皆さまの信頼回復に努めます

度と起こさないために再発防止に取り組み、町民皆さまの信頼回復に向け職員全

体が襟を正し、職務に精励いたす所存でございます。

有線放送で議会一般質問を生中継中でしたが、竹山議員の再質問が極めて不適切ならびに誤った発言であったため、同議員から再質問の取り消しがありました。

この再質問の発言が重大な誤りと本人の責任を明確にするため、本会議場での陳謝を求め、同議員から陳謝の発言がありました。



量水器交換作業

答

「上水道量水器期限切れ問題調査および再発防止対策委員会」からの適切なご指導、ご進言を賜り、改めて感謝を申し上げます。

上下水道運営委員会から答申を真摯にお受けし、今月（9月27日）には、私の責任（町長）をあわせ、役場内の処分をいたしました。今後こうした不祥事を二



内山 英作議員

県の流域治水条例案について

県議会の事態を見ながら今後の取り組みを検討します

域を指定している都道府県は、佐賀県があります。佐賀県では、県建築基準法施行条例において罰則を適用されています。その他、兵庫県や新潟市では、罰則を定めない内容の条例、助成制度があります。

この条例案は「規制と罰則」があり、手続きを述べられたか。この条例案は「規制と罰則」があり、手続きをせず新・増改築した場合などに罰金・過料が課せられるが、他府県の事例と、これについての考え方を伺つ。

民家のかさ上げの場合、家主の負担分は4分の1で負担が重すぎるが、竜王町が負担する考えはあるかないか伺う。



台風18号による中津川の氾濫(弓削地先 2013.9.16)

県からは、条例案において「財政上の措置」が規定されており、これに基づき条例案とは別に、かさ上げや避難場所整備の費用の一部を支援する制度が検討されています。

今回県が提案されている「流域治水条例」における建築制限の内容は、具体的には現行の県建築基準条例第34条に規定されている災害危険区域に関する規定である。

自治創造会議では、川の中の対策である日野川の抜本的改修計画の見直しを行ってもらい、一日も早く改修を進めほしいと述べました。

出水に関する災害危険区

例に移行して運用されるも

一般質問

滋賀県立工業団地 残地森林の有効活用について
松浦 博議員

答

工業団地開発に関連し、竜王町が行う国交付金事業につきましては、社会資本総合整備計画と都市再生整備計画を策定し、竜王インターチェンジ周辺のまちづくり整備を進めています。その計画において、総合運動公園（ドラゴンハット）と工業団地との間の緑豊かな森林（保安林）など資源を最大限に有効活用し、「心

問

滋賀県立工業団地 残地森林（保安林）については、総合運動公園やその周辺も含め、「心身の健康づくりの場」「憩いの場」「学びの場」などといった広範な総合公園として環境整備を進めようとしているのか、当局の計画について伺う。



松浦 博議員

滋賀県立工業団地 残地森林の有効活用について

有効活用方策を検討していきます



残地森林の一部

答

この土地は平成22年1月20日に町が地区計画決定を行い、同年12月21日に開発事業者が

身の健康づくりの場」「憩いの場」「学びの場」としても十分な機能を發揮できることによって、まちづくりを進めてまいりたいと考えています。

既存森林の具体的な取り組みを進める上で前提条件として、
①県および県土地開発公社所有地が中心であること。
②保安林の改変には一定の制限があること。
③工業団地に関する環境アセスメントの内容とも整合すること。

④隣接する総合運動公園などの周辺施設と連携する必要があること。
など各種条件や周辺施設、環境にも配慮した最適な有効活用方策を検討してまいります。

以前にも一般質問でIBMグラウンドの跡地活用について質問をしているが、その後1年8か月経った現在、事態はどうなっているか。篠原駅の駅舎改修計画が進んでいるなか、あの土地は住宅開発ができるようにならぬか。この計画があると聞いている。当町も人口減少が進んでいるのでそれを食いとめることを考えると、大変重要な土地である。また京都、大阪方面への通勤圏で絶好の土地もある。現在の状況はどうなっているか伺う。

西村 公作議員

問

以前にも一般質問でIBMグラウンドの跡地活用について質問をしているが、その後1年8か月経った現在、事態はどうなっているか。篠原駅の駅舎改修計画が進んでいるなか、あの土地は住宅開発ができるようにならぬか。この計画があると聞いている。当町も人口減少が進んでいるのでそれを食いとめることを考えると、大変重要な土地である。また京都、大阪方面への通勤圏で絶好の土地もある。現在の状況はどうなっているか伺う。

答

この土地は平成22年1月20日に町が地区計画決定を行い、同年12月21日に開発事業者が

都市計画法第29条の開発許可を取得しました。しかし、いまに工事着手には至っていないので、町は開発事業者と土地所有者に対し状況説明を求めてきましたが、工事未着手の要因は

土地取引に関して支障が生じたことによるものです。このように状況のなか、開発許可権者である県住宅課へも再々出かけて協議を重ねていますが、打ち合わせは今のところ見つかっていません。今後は事業計画段階からご理解ご協力を賜っている



IBMグラウンド跡地

IBMグラウンド 跡地の活用について

事業者、土地所有者に對して引き続き求めています



西村 公作議員

地元自治会からも心配する声を聞いていますので、民間事業者間の課題で難しいこともあります。引き続き、ぜひこの問題に對処していきたいと考えています。



貴多 正幸議員

龍王町における

顔の見える関係づくり、活動を進めていきます

たいと考えています。

ております。

問 長野県佐久市に視察研修へ行かせていただき、保健師による住民への指導や教育、住民との関わりの大さなどを学んできました。

当町においても、かつては保健師が各自治会に出席し、血圧を測るなどの保健予防活動をされていましたが、現在はされいないように窺える。今後、保健福祉サービスの向上を考えたとき、保健師の役割は重要な思われるが、どのような保健師活動を考えているのか伺う。

答 竜王町の保健師 活動については、地区担当制と業務担当制を併用しながら地域活動を展開できるよう、課題整理をしながら取り組んでまいり



保健師による健康相談



古株 克彦議員

平成25年度の新規取り組み事業の執行状況について

新規取り組み事業の 執行状況について

4件の今後の予定等について答えます

(2) 松が丘団地は、出入りが南北の信号交差点一ヵ所という現状から、道路インフラ整備を進めていくため測量設計費を計上しています。

今年度、県営事業とし

ることを目的としています。農振除外のハードルが非常に高いことから県の担当部署と協議を重ね一定の方向性が見えた段階で、本業務に着手します。

今年度 県営事業として砂防河川広谷川の河川改修工事に着手することになっています。その上課題点を整理しています

問 平成25年度の次の4件の事業の進展および今後の予定について伺う。

① 今年度、橋梁長寿命化修繕対象の3橋について
② 進入路が一力所の松が丘団地の(仮称)町道松が丘不動尊線道路新設測量設計業務について
③ 総合庁舎周辺地区定住化促進業務について
④ 地図訂正・登記業務委託について

答
①薬師橋、小口
橋、岳川橋の

答 ①薬師橋、小口橋、岳川橋の3橋については現在、詳細設計業務において現場診断を踏まえて修繕設計の内容検討を進めています。



薬師橋の現況

一般質問

答 第2次避難所である小中学校では、災害で電気が途絶えたとき、重度障害で電気が必要とされる方が来られた場合、対応はできるのか。現在、学校に発電機は何台置いているのか。また、町内企業・事業者等との災害時における協定は十分か。

問 第2次避難所である小中学校では、災害で電気が途絶えたとき、重度障害で電気が必要とされる方が来られた場合、対応はできるのか。現在、学校に発電機は何台置いているのか。また、町内企業・事業者等との災害時における協定は十分か。



防災資機材保管庫



岡山 富男議員

災害時における避難所等の備蓄資機材の状況について
新たな仕組みや体制づくりを進めています

て小型発電機と投光機各4台を保有しております。中学校以外の第2次避難所では、避難初期の電力確保を図る設備がないため、滋賀県電気工業組合や竜王町商工会電気部会に支援協力をお願いしなければならないと考えています。

次に、町内企業・事業者等との連携としては、4企業と応援や物資の調達に関する協定を締結しています。今後町としましては、避難所・飲料水・食糧・生活必需品等の供給のため、町内の大手自動車製造事業所や大手量販店との協定を進めています。

小森重剛議員

「竜王町防災計画」策定作業の進捗状況について

答 従来の防災計画に加えて、「新たなリスクに備えた、原子力災害対策編」の新規策定を考えています。

アセスメント調査結果概要および各自治会との意見交換の結果を基に、自然災害において条件的整理を行い、各自治会別に人的被害・建物被害を想定し、避難者数や避難所の安全性などを具体的に算定していきました。

また、台風18号の教訓を基に日野川沿川については、拠点整備のあり方を検討していきます。

竹山兵司議員
竜王町防災訓練と医療等について

答 去る9月1日に総合防災訓練を実施いたしましたが、参加者は4650名で町の人口に対する参加率は、40・6パーセントでした。震災、風水害等による遠い他市町との医療機関の連携は、広域連携も含め、現在、実施しております町防災計画の見直しにおいて検討してまいります。

内山英作議員

健康づくりのためのウォーキングの推進について

答 町民の皆さまが、自分自身の健康に関心を持ち、楽しみながら持続して活動に取り組めるよう、関係課および関係機関とさらに連携を深めてウォーキングの推進に努めてまいります。

答 第2次健康いきいき竜王21プランを策定、健康づくりの取り組みを進めています。地域における健康に関する教育や啓発に竜王町健康推進協議会が重要な役割を担っていただいています。

また、地区では区長さんや福祉保健推進員の方々に、啓発活動に取り組んでいただいております。

答 介護保険・要支援者対策について

答 今年度から「地域ケア会議」を立ち上げて、必要な支援体制・支援サービスについて検討し、介護保険事業計画につなげてきます。また、ニーズ調査・分析等を行い、第6期の高齢者保健福祉計画策定委員会で協議し準備を進めています。

第15期竜王町議会(後期)新体制決まる

童王町議会議員職務一覧表

氏名	小森 重剛	竹山 兵司	若井 敏子	岡山 富男	山田 義明	内山 英作	貴多 正幸	古株 克彦	松浦 博	西村 公作	菱田 三男	藏口 嘉寿男
議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
議長・副議長・監査委員	副			監								議
議会運営委員会	○				長		○	副				○
総務産業建設常任委員会	○					○	長		○	○	副	
教育民生常任委員会		○	○	副	○			長				○
議会広報特別委員会		○		○		○		○	副	長		
地域活性化特別委員会				副			○	○	長	○	○	
議会基本条例推進特別委員会	長	○	○	○	○	副	○	○	○	○	○	

藏口議長

嘉壽男



副議長
小森 重剛



シリーズ いきいき人生

西出区在住
島田多美枝さん
しまだたみえさん

最近私は、自分が今年古希であることを知りました。「えっ私が古希？なんで」という気持ちで悪がきしているのですが、七十年を振り返るといつも誰かに助けられ、支えられてきたことを思い出します。特に障がいのある人とともに歩んできた半世紀を思い出すと思わず顔がほころびます。私が落ち込んでいると面白いことをして笑わせてくれたり、心から心配してくれたり、大丈夫だよって言葉にならない言葉をかけてくれたりそんな毎日の繰り返しでした。彼らの魅力から離れられず今もぬれ落ち葉のようにかかわっています。

最近「出生前診断」という言葉をよく耳にします。従来からの羊水検査ではなく、新しい検査で染色体の病気がわかる検査のようです。

染色体というのは結合すると超速で分離するそうです。その時に起きるそうですが、私は、染色体が原因で障がい

のある人たちをたくさん知っています。みんな素晴らしいものをいっぱい持つて周りの人達を助けています。もしも迷っているお母さんがいたら伝えたいのです。安心して出産してください。一つしかない命、かけがえのない命です。大切にしてください。生んでよかったですときつと思いります。18番トリソミー・21番トリソミーなんてくそくらえです。と言つても障がいがあるがゆえに生きづらいこともあります。でも必ず乗り越えられます。世の中の人もわかつてください。このことを・・・・

何よりも「出生前診断」を制度化する前に障がいがあつても安心して暮らせる世の中にしてほしいのです

天高く氣澄みわたる好季節を迎えております。
このたびの議会の役員改選により、広報委員会委員が変わることになりました。この2年間、紙面を通して町民皆さん方に議会活動の様子をお伝えし、ご理解いただきるよう努力してまいりましたが、その域に至らなかつたことが心残りでございます。

ご投稿、ご意見さらに写真などのご提供にご協力いただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

新しい広報委員会委員にバトンタッチをいたしますが、変わらぬ温かいご指導とご協力を賜りますよう、お願ひ申しあげまして、最後の編集後記とさせていただきます。

議会広報特別委員会
委員長 内山 英作
副委員長 山田 義明
委 員 小森 重剛
貴多 正幸
菱田 三男
蔵口嘉寿男

編集後記